

秋の旅行会「高倉健主演『駅』増毛・留萌をローカル列車で巡る旅」

10月24日（土）に本年度の秋の旅行会「高倉健主演『駅』増毛・留萌をローカル列車で巡る旅」を会員、ご家族を含む23名の参加で実施しました。あいにくの雨模様でしたが、久しぶりにお会いする方もいて、奥様方と子供さんを交え、楽しい1日を過ごすことができました。

朝8時に札幌駅に集合。貸切バスに乗車、高速経由で留萌をめざし、10時過ぎに留萌線の恵比島駅に到着しました。ここは20年前にNHKの朝ドラ「すずらん」の舞台となった「明日萌駅」で、当時のロケセットがそのままに私達を迎えてくれました。駅前の「中村旅館」のロケセットが喫茶店となっていて、しばし休憩の後、留萌に向かいました。

留萌からは12:14発の増毛行に乗って30分ほどローカル列車の旅を楽しみました。皮肉なもので昨年8月に廃止提案してから連日多くのお客さんで賑わっており、当日も1両のワンマン列車はほぼ満席の状況、車窓から晩秋のローカル線の旅を満喫しました。

「増毛駅」では、まず駅前で列車をバックに記念撮影、徒歩で「寿司のまつくら」へ向かい、特上なまちらしに舌づつみを打ちながらの昼食会、恒例の参加メンバー自己紹介が行われ、懇親を深めました。

昼食の後、「増毛駅」に戻って、地元の観光ガイドさんの案内で、まずは高倉健主演「駅・STATION」のロケセットと街並みを見学、その後明治の豪商の館「丸一本間家」を見学しました。石倉造りの建物に入るとニシン漁全盛期の頃に贅をつくした装飾品が展示されており、当時天塩国一と言われた繁栄の跡が偲ばれました。そこから本間家が創立した「國稀酒造」へ、酒造りの歴史と各種名酒の試飲に時を忘れて楽しみました。

帰路は雄冬経由で日本海の風景を眺めつつ家路につきました。

廃止を提案した留萌・増毛間16.7キロをローカル列車で揺られながら、それぞれの思いに浸りつつ、会員・家族の懇親を深める良い一日を過ごすことができました。

ご参加いただいた会員、ご家族の皆様にご挨拶いたします。

（文責・小山）

